

教科(分野)	技術・家庭〔技術分野〕	履修学年	第3学年	指導時間	17 単位時間	担当者	田丸 茂	
使用教科書	新しい技術・家庭 (東京書籍)	補助教材	なし					
目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。							
評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解				
趣旨	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術を評価し活用しようとする。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見付けるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術を評価し活用している。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。				
評価資料	○授業観察 ○学習達成状況 ○ワークシート	○ノート活用状況 ○学習記録 ○ワークシート	○作品 ○作業	○定期テスト ○小テスト ○ワークシート				
言語活動を取り入れる場面等	○学習発表 ○試験問題							
指導計画								
月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準				
4	A材料と加工に関する技術	5	ア 金属を使った作品の機能を考え、形を設計し製作することができる。	生活や技術への関心・意欲・態度	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して材料及び加工法を検討しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。			
5		1		生活を工夫創造する能力	・目的とする機能を、材料の特性を考えながら具体的な形にすることができる。 ・実際の作業の体験から、工具を使用するコツや工程の改善法に気づくことができる。			
6				生活の技能	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。			
7				生活や技術についての知識・理解	・金属材料の加工における工具機械の使用法や方法、材料の特性についての知識を身に付けている。 ・使用する材料の特性に応じて安全な作業を行うことができる基本的な知識を身に付けている。			
			1学期小計 (6)	言語活動 加工に関する作業内容を自分の言葉で表現できる。				
9		D 情報に関する技術 (3) プログラムによる計測・制御について。	3	ア コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知ること。	生活や技術についての知識・理解	・計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 ・計測・制御システムにおけるインタフェースの必要性についての知識を身に付けている。		
10			3					
11	1					イ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できること。	生活や技術への関心・意欲・態度	・利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。
12			2学期小計 (7)	生活を工夫創造する能力	・計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討して上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。			
1		4		生活の技能	・設計に基づき、簡単な計測・制御プログラムを作成できる。			
2		3		言語活動 制御方法・プログラミングについて説明できる。 簡単なプログラミングができる。	生活や技術についての知識・理解	・情報処理の手順について知識を身に付けている。		
3					3学期小計 (4) 合計 (17)			
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)	(1)生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育 ○作物の栽培 ・病害虫の駆除、生産物の品質と収穫量の向上、目的に応じた施設栽培などを学習する ・実習(定植、収穫、作物の管理技術、整地、除草、施肥、かん水など) (2)プログラムによる計測・制御 ○情報処理の手順を考え、簡単なプログラムの作成ができる ・計測・制御の基本的な仕組みを知る学習 ・製作(簡単なプログラムの作成)						
	学習上の留意点 受講上の注意	○授業道具(教科書、ワークノートなど)を必ず持参する ○提出物は100%出し切る ○実習時は作業のしやすい服装に着替える ○実習では、工具や機械の使い方をよく聞き、適切に使用する ○怪我や火傷に気をつける ○指示のない限り、勝手に機械を操作しないこと						